

まちづくり懇談会を開催しました

町民の皆さんの意見や提案を町政運営に反映させるため、書面と電子メールによる「まちづくり懇談会」を開催しました。地域が抱える課題だけでなく、新型コロナウイルスに関するするなど、45名から計107件の意見等が提出されました。主な意見や提案をお知らせします。

防災ラジオの導入

意見等 町民の命を守るための大切な情報が全町民に行き渡るようにさまざまな手段を整えておく必要があると思う。防災行政無線のスピーカーカーからの音声が聞こえにくい時のために、電話で音声案内を聞くことができ、スピーカーで流れる一部の内容は「那須町防災ウェブサイト」や「那須町安全安心メール」で配信されることも知っているが、もっと確実にするために防災行政無線戸別受信機（防災ラジオ）の導入を考えてほしい。

総務課 町内全ての住民に情報が行き渡らない現状について、防災行政無線戸別受信機の導入の検討も行ってきました。しかし、戸別受信機を活用するためには電波の状態を各戸調査しなければならず、屋外アンテナの設置が必要であったり、設置しても受信できる部屋が限られるなどの課題もあります。



町内に設置されている防災行政無線



湯本線と追分・黒磯駅線の2路線を走る町民バス

保育園の行事の制限

一人でも多くの住民に情報が行き渡る手段や対策を継続して調査研究してまいりますのでご理解とご協力をお願いします。

意見等 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、保育園の行事に制限がかかりすぎる。ワクワクン接種も進んでいる中、安全ばかり気にして、子どもは思い出作りが何もできない。

子ども未来課 保育園は、昼間家庭に保育者がいないお子さまをお預かりしており、行事の開催については慎重に検討しています。新型コロナウイルスの流行度に応じた実施基準を設け、安全安心を念頭に行事等を実施します。

保育園と保護者の情報共有

意見等 保育園と保護者間の情報共有の方法をアナログからデジタルにできないか。一斉メール配信（田んぼの目メール）は不

安定なため、送信後に対面で確認していると思う。また、紙ベースの情報伝達が行われている。情報共有の効率化を図るべきだと感じる。

子ども未来課 令和3年度に登降園システムを導入し、専用アプリから保護者へ一斉メールを配信することができるようになりましたので、本格運用後に田んぼの目のメールは廃止します。これらのシステムを活用し、ペーパーレス化、保護者への情報共有の効率化を図ってまいります。

町の公共交通

意見等 町の公共交通が全て不便である。黒田原駅から那須塩原駅で新幹線に乗るのに1時間以上かかる。せめて40分くらいで乗り続けたいと思う。デマンド交通もバスもあるが、多くが駅に30分前に着いてしまう。

ふるさと定住課 これまで、JRのダイヤ改正等に合わせてダイヤの見直しを行ってきました。今後もより利便性が高まるようダイヤの見直しを行っていきたいと考えています。

公共交通網の改善

意見等 那須温泉旅館協同組合が行っている宿泊客無料送迎システム、町民バス、デマンド交通

やスクールバスなど、運行主体それぞれが個別に費用をかけ運行を続けていくことには限界があるのではないかと。現状の経費、保有車両、人材、システム、これらをもつにまとめ、有効に活用することで町内公共交通網の改善が可能になるのではないかと。ふるさと定住課 現在、令和4年度からの町の公共交通計画を策定しています。その中で、町や関係事業者等で構成するワーキンググループを立ち上げ、町内の公共交通の改善を図っていきたいと考えています。

県道の整備

意見等 黒田原から高久駅を經由し黒磯へ向かう道路が狭い。とくに高久駅前のクラックと、高久駅を過ぎてからの道幅が狭い。改良できないか。

建設課 当該道路については、現在、県において道路改良の計画が進められていますので、町としても早期の完了に向けて要望・協力してまいります。

